松丸一雄委員長

開催あいさつ

チャレンジ精神発揮し 未来へ新しい運動を構築する

松丸一雄委員長

昨年は東京土建結成70周年でした。歴史の教訓に学ぶとともに、「総合5カ年計画」の実践に全力で取り組みました。11月のよみうりランドでのイベントでは、1万人を超す仲間と家族が楽しく交流できました。71年目の今年は、気持ちも新たにチャレンジ精神を発揮して、未来を展望する新しい運動を構築するたたかいに臨むものです。

この一年間を振り返ってみますと、私たちを取り巻く状況には三つの大きな変化があったと思います。一つには、社会保険適用の促進によって事業所の仲間が大きく増えたことです。二つ目には、建設アスベスト訴訟です。三つ目には、憲法を変える動きが本格的になってきたことです。

建設産業をめぐる状況について述べます。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都圏大開発が進められています。その犠牲に新国立競技場、選手村現場で2人の若者が命を落としました。仲間の命をおろそかにするような労働実態は、断じて許せません。東京土建は現場対策を発展させます。

CCUSは運動でよりよく

建設キャリアアップシステム（CCUS）がこの秋までには本格導入されます。CCUSで低賃金と権利が明確でない現在の建設産業を変えていく、一つの仕組みと道具を手に入れることとなります。まだ不十分で改善することはありますが、私たちの運動でより良いものにしていくことが大切です。

組織づくりでは、土建国保と共済制度を守りながら、切実な相談ごとに対応して、つながりを強め、仲間づくりを推進していくことを重視していきます。とくに青年と後継者層、事業所の仲間の結集に努力することが大切です。組織の拡大強化に最大限の力を注ぐものです。昨年は1・25%の増勢となりました。今年も実増1%以上の目標を掲げますが、12万人回復めざして着実な前進をはかろうではありませんか。

安倍政権は防衛費予算を6年連続で伸ばしながらも社会保障制度を毎年切り刻み、消費税は来年に10%へ増税、そしてズサンな調査で強行しようとした長時間労働を野放しにする「働かせ方改革」も完全には断念していません。さらに憲法9条を空文化することを狙っています。どれをとっても国民の命と暮らし、平和に、重大な影響をもたらすものばかりです。悪政を変えるたたかいに全力で立ち向かいましょう。

最後に、心苦しいことではありますが本部費の100円引き上げを提案しています。運動前進のための財政基盤をつくりますので、ご理解いただくことをお願い申し上げます。代議員のみなさん。2日間の大会では積極的、建設的な討論をされることを呼びかけまして、本部あいさつといたします。

新中央執行委員会

中央執行委員長
松丸　一雄（江東）

中央副執行委員長
佐藤　豊（目黒）
渡辺　義久（三鷹武蔵野）
丸山　篤義（多摩・稲城）
松本　久人（江戸川）
窪田　直彦（足立）
西田　浩人（世田谷）

書記長
白滝　誠（足立）

書記次長
北川　誠太郎（世田谷）
年森　隆広（渋谷）
渡邉　輝明（北）

小番　徹（北）
近藤　初雄（西多摩）

常任中央執行委員
横澤　勉（大田）
中村　隆幸（杉並）
石川　信一（北）
石村　英明（府中国立）
齋藤　誠（台東）
芳井　武（葛飾）
後藤　英雄（葛飾）
小坂　剛（西東京）
佐藤　里志（渋谷）
上原　誠（練馬）
五本木　弘晃（西多摩）

専従常任中央執行委員
唐澤　一喜（練馬）
中村　哲郎（西東京）
熊切　健二（杉並）
渡辺　睦（三鷹武蔵野）
木村　潮人（江戸川）
三木　勉（多摩西部）
中村　修一（足立）
松広　高幸（練馬）

中央執行委員
武藤　彰（足立）
五箇谷　日出雄（荒川）
益子　栄治（葛飾）
奥村　歳久（文京）
寺山　邦裕（台東）
小島　明（墨田）
大木　栄一（江東）
成田　洋一（江戸川）
福地　孝志（板橋）
土橋　弘典（豊島）
渡辺　勝二（北）
福岡　忠行（練馬）
清水　弘之（港）
小林　紀久夫（品川）
葛西　政之（大田）
佐藤　忍（目黒）
伊藤　勝伸（渋谷）
佐久間　法博（世田谷）
伊藤　賢司（新宿）
阿部　秀晴（中野）
松原　秀夫（杉並）
金子　昭二（三鷹武蔵野）
宗像　勇（狛江）
佐藤　眞理子（調布）
檜山　剛志（多摩西部）
山口　知之（西多摩）
鯉淵　勝也（小金井国分寺）
宮澤　和也（府中国立）
向井　明（八王子）
古怒田　忠（日野）
三橋　誠（多摩・稲城）
三塚　茂明（町田）
新井　信道（小平東村山）
前川　達夫（清瀬久留米）
唐鎌　昭二（西東京）
渡辺　貞雄（村山大和）

中央執行委員（書記）
吉川　豊（東部B）
栗橋　宏（江東B）
和田　光太郎（城北B）
川島　環（南部B）
山崎　修（西部B）
田中　訓子（多摩東B）
大房　孝朗（多摩西B）
木戸　雅夫（多摩南B）
砂川　恵（多摩北B）
栄　大翔（調布）

常任中央執行委員待遇
竹内　史朗（八王子）
沼口　剛（渋谷）
中原　收（小平東村山）
大野　史（西多摩）
星　清志（小金井国分寺）
山本　繁樹（江東）
塩野　操（大田・主婦の会）

中央執行委員待遇
苅込　美津代（三鷹武蔵野・主婦の会）
加藤　行夫（渋谷・シニア）

会計監査
須賀　朗（板橋）
真木　泰久（足立）
鈴木　敏幸（町田）

第71回大会宣言

東京土建は昨年、結成70年を迎え、団結して組織の拡大強化、産業課題と生活を支える課題として「総合5カ年計画」中間年を実践し、野党共闘や脱原発に取り組む市民運動などと連携をはかり、平和と憲法9条を守る運動に取り組みました。

産業対策の分野では、新国立競技場前での早朝現場宣伝を繰り返し、賃金引上げと労災根絶、公契約条例制定の運動をすすめ、仕事確保では防災減災や住宅デーなどの地域活動と共同受注体制づくりの具体化、リフォームパートナー協議会（リカコ）の活動を積極的に取り組んできました。また、被害者・補償基金制度の創設を求めたアスベスト裁判闘争では神奈川・東京での高裁判決で見事、原告が勝訴し、国の断罪と製造企業の責任が明確となりました。さらに、技術センター講習と建築カレッジの受講・訓練者数も大幅に増加させました。

仲間と家族の生活支援の取り組みでは、毎月定例の宣伝と署名行動や学習活動をすすめ、地域団体とともに消費税引き上げと大衆増税止めよ、社会保障制度拡充、TPP・マイナンバー制度反対の運動を全都で広げました。また、建設国保育成強化では、大衆行動の前進により現行水準を確保しました。共済制度では、火災・地震・自転車共済の「生活丸ごと安心パック」を推進し、共済と文化活動を前進させました。

組織拡大では年間1万8205人、拡大率15・98%の到達を築き、組織実増1424人、実増率1・25%を果たし、目標を達成できる組織力と運動力を高め、産業の多数派形成と拡大運動を前進させました。

安倍政権は北朝鮮周辺で軍事演習を展開するアメリカ・トランプ政権を称賛し、日米軍事同盟の強化と自衛隊合憲の改憲発議をめざすとともに、「働き方改革」と称し労働者の権利の骨抜きをねらっています。建設産業ではゼネコン・ハウスメーカーは史上最高益を更新しながら、過酷な無権利労働をまん延させ、入職3年以内の離職率は5割を超え、若手技能者不足は深刻です。

東京土建は今年度71年目に入り、新たな気持ちで建設従事者の仕事と暮らしの改善、社会的地位向上へ団結して立ち向かいます。産業の民主的な転換めざし、攻勢的に立ち向かう「総合5カ年計画」の後期2年の実践をすすめ、仲間と家族のくらしを側面的に支える活動を推進します。私たちの仕事と生活にもとづいた要求実現のために組織建設を大きく前進させます。

産業対策の課題では、技能と賃金額が連動する欧米なみの産業改革へのスタートとなる建設キャリアアップシステムに取り組み、意義の学習と組合の窓口登録の準備を開始します。「請求・要求・交渉・獲得・賃上げ・適用」の総合的運動で処遇改善、社会保険対策と公契約条例制定の促進、事業所経営支援策をすすめます。職域を守る運動では、仕事の掘り起しと減災防災はじめとした地域活動、受注とリカコ事業を推進します。職業病対策、アスベスト裁判闘争を推進し、担い手育成と技術対策活動を向上させます。

仲間と家族の生活を支え、社会保障制度を拡充させるため、建設国保の育成強化と補助の現行水準確保をめざします。消費税引上げ阻止、大衆増税反対と納税者の権利を守り、脱原発とマイナンバー制度反対、平和を守る広範な市民運動・労働運動と共同し憲法を生かす3000万人署名を達成し、改憲を阻止します。組織課題では支部と分会・群の拡大行動を通じて組織力を高め、春秋の月間目標と年間1%実増を達成します。また、事業所と後継者の結集を重視し、仲間の助け合いの共済活動を前進させます。

私たち、東京土建は現場と業界、地域における多数派結集と、民主的で人が育つ明るい建設産業の実現、私たちの生活と憲法を守るたたかいに全力を挙げ、団結して奮闘することをここに宣言します。

2018年3月19日

東京土建一般労働組合　第71回定期大会

組合結成70年の歴史と教訓を活かし、**「人が育つ、明るい建設産業」**を実現するため、建設従事者の低賃金と過酷労働の打開、権利の拡充をめざし、現場と生活に憲法を守り活かすたたかいと多数派形成の運動を**団結して推進しよう！**